

旋帯文石



指定区分	国指定重要文化財(考古資料)
読みかた	せんたいもんせき
所在地	倉敷市矢部
指定年月日	昭和57年6月5日
解説	弥生時代の大規模な墳丘墓の上に所在する楯築神社のご神体で、弥生時代に作られたと考えられている。長さ、幅とも約90cmの石に人面を刻み、体部全体に帯状の紐を旋回させ束縛したような文様が細かく彫られたものである。この文様は弥生時代の祭祀儀式に用いられた特殊器台と同種で、祭祀、呪術的な様相を漂わせた、他に例のないものである。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	岡山県立博物館、国立歴史民俗博物館にレプリカが展示されています。